

市川市政3期目の公約

災害に強いまち

- 頻発化する自然災害への注意を怠ることのない対応
- 道路などの社会インフラの整備
- 困惑する空家問題への取り組み
- 市民に信頼される行政運営の追及

若者が躍動するまち

- 若者福祉の実現への取り組み
- 若者のチャレンジ支援
- 若者の交流機会の創出

安心して子育てし、学べるまち

- 安心できる妊娠・出産・保育環境の充実
- 子どもたちへの安心の医療機会の提供
- 多様な学習機会の提供
- 奨学金返還助成制度の充実
- 市内唯一の仁賀保高校の魅力化への取り組み

健やかに生き生きと暮らせるまち

- 健康づくりの取り組みへの支援
- 地域コミュニティ活動への支援
- 安心の医療・介護の実現

商工業・農林水産業・観光業への支援

- 小規模事業者への支援
- 景観保全型ほ場整備事業の推進
- 戦略産業としての一次産業への支援の確立
- ロケツーリズムの開拓
- アウトドア観光の確立
- 鳥海山・飛鳥ジオパークを世界ジオパークへ

シビックプライドの醸成

- SNSやマスメディアを活用しながらの情報発信
- 移住・定住の取り組み、二拠点居住などの新たな生活スタイルの追及
- 多文化共生社会の理解と実現

Profile

市川雄次 いちかわゆうじ
1967（昭和42）年生まれ
本荘高等学校、防衛大学校卒
福祉施設に勤めながら旧象潟町議会議員、
にかほ市議会議員を6期16年余り務める。
2017（平成29）年11月13日から市長
を務め、このたび3期目がスタート。



冬の鳥海山と栗山池公園を望む

人口減少問題に挑戦

令和6年度の社会動態調査では、本市の人口は流入が流出をわずから人ではありますが上回ったことにより、にかほ市が誕生して以来始めての社会増となりました。これは人口減少率最下位が続いている秋田県にとっても大きな意味を持つものだと思います。

今後は、さまざまな施策を展開してきて得られた社会増のプラス5人に加え、自然増へ向けて取り組むことを3期目の最大のテーマとし、人口減少問題に挑戦して参ります。そして、これまでの2期8年間の実績を成果として、次に掲げる3期目の公約6分野24項目について早急かつ着実に取り組んでいきます。

市川市政3期目に突入 人口減少問題への挑戦

2期8年間の実績を確かな成果に

2期目4年間を振り返り

令和7年11月13日、3期目の市政がスタートしました。2期目4年間を振り返ると、TDK社員寮の整備や市の若者支援住宅が今年度末に完成予定であるなど、若者が躍動するまちづくりは着実に進んできました。安心して子育てし学べるまちについては、妊産婦から保育、学齢期への一貫したサポート体制を確立させてきています。また、県立仁賀保高校の存続も決定しました。

健康・福祉分野においては、世界的なコロナ禍におけるワクチン接種体制の充実、各種検診や医療補助器具への助成など、健やかに生き生きと暮らせるまちを目指してきました。

農林水産業では象潟前川地区景観保全型ほ場整備事業に着手し、商工・観光業においてはニカホアウトドアベース・モンベルにかほ店がオープン、アウトドア振興の新たな拠点づくりを進めてきました。

そして、近年激甚化し、本市においても毎年のように発生する自然災害に対しても、自治会や消防団との連携・強化を図り、国への要望も迅速に行い「適時適策」で対応してきました。

